

よしとみさんぽ

vol. 19

よしとみ 吉富技建

第19回のよしとみさんぽ。今回は別府地区の「吉富技建」社長 三村勝也さんにお話を伺いました。

「瓦業の仕事を始めたいきっかけは。」

最初は会社員をしていたのですが、職人になりたいと思い、19歳で瓦職人の方に弟子入りして修行を始めました。その後、独立するチャンスがあったので、そこから更に勉強して技術を磨き、本業として瓦業を立ち上げ、もう31年になりました。



使用している瓦は日本三大瓦の一つ、島根県の石州瓦。特に寒さや塩害に強い瓦です。

「会社の名前の由来は。」

私は生まれも育ちも吉富で現在も吉富に住んでいるのですが、「吉富で技術を使った、技を活かした瓦業（建設業）をする。」という意味から「吉富技建」という屋号にしました。

「現在は息子さんも後継者として一緒に働いているそうですね。」

2年前から息子も一緒に仕事を始めました。覚えも早いし、従業員や周りの人たちとの輪ができていて、コミュニケーションもよくとれています。これから勉強することはたくさんあるけど、いろいろと免許を取って頑張ってくれたらいいなと思ってます。

「息子さんはお父さんと同じ仕事をしようと思ったきっかけはなんですか。」

大学を卒業して、父の仕事を手伝っていたのですが、楽しい仕事だなと思いはじめ、従業員の方もいい人ばかりだったので、一緒に仕事をしたいと



親子二人三脚で頑張っています。

勉強を始めました。瓦の葺き替えは、古いものから新しいものに変わると、家の雰囲気もガラッと変わるのので、その出来上がった姿を見ると凄いなと思います。

「勝也さんがこの仕事をしていて心がけていることは。」

お客さんに嫌な思いをさせない。作業中も整理整頓、片付けをきっちりすることを心がけています。信頼あつての仕事なので、作業が終わったあとに、「あなたに頼んで良かった！」といってもらえるのが一番うれしいです。

「町民の皆さんに一言！」

瓦の葺き替え作業以外にも、住まいに関する事であればなんでも相談に応じますので、お気軽にご連絡ください！

父の技術を傍で見てながら自分の技術を磨いている息子の怜さんがとても頼もしく、その姿を見守る勝也さんの優しい笑顔が印象的でした。これからも親子で素晴らしい家づくりに頑張ってください！



立派な鬼瓦を手に微笑む三村勝也さんと息子の怜さん。お父さんの働く姿を見ながら、技術をたくさん習得しています！

吉富技建
住所 / 大字別府458-1
営業時間 / 8:00~17:00
定休日 / 日曜日
電話番号 / 0979-23-3196